



広報 矢島

9月

平成 16 年第 5 8 1 号

編成・発行／矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷／高瀬館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



新市へ向けて大いなる一步（合併協定調印式）

来年3月22日の合併に向けた一つの節目である、合併協定書の調印式が行われました。
新たな市の誕生へ向けてこれからも協議が続きます。

今月の主な内容

P 2・3 合併協定調印式
P 6～8 まちの話題
P 10・11 国体準備室だより

P 4・5 矢島町成人式
P 9 教育委員会だより
P 16・17 情報ひろば



8月17日午後2時から本荘市において一市七町の合併協定書の調印式が行われました。

冒頭、調印式にさきがけ合併協議会幹事長である鷹照本荘市助役より協定書調印に至るまでの経緯が説明されました。



調印を終えた協定書

今回調印を行う合併協定書は合併協議会で協議し確認された協議事項をまとめたものです。(協議事項については過去の広報にてご報告しております)

8月17日

合併協定調印式

— 新市誕生へ向けまた一つ前進 —



合併協議会会長
柳田本荘市長

つづいて合併協定書の調印を終え、協議会会長である柳田本荘市長より挨拶がありました。

：・少子高齢化社会を迎えるなか、慎重な議論を進めてきた。地方分権が叫ばれて久しいが行政基盤の強化が必要となった。少子化や生活の多様化に対して、質の高いサービスを迅速に行える必要がある。

先人の大いなる歴史・文化を土台としてこの地域に惜別の思いを持ちつつも、21世紀に躍進する新しい街づくりに邁進して行かなくてはならない。(挨拶要旨)

と地域の独自性を尊重しつつ一体的な発展を目指した新市への抱負が語られました。

続いて来賓を代表し、寺田秋田県知事より祝辞がありました。

他の模範となるこの一市七町の調印式を祝うと共に、多くの自然と共に県下に誇る、産学官一体となった先端技術の集積地としての可能性を新市においてさらに発展させて欲しいとの期待が寄せられました。



今後への期待を語る知事



写真2

写真1

写真3

写真1：合併協定書8冊に署名を行う各首長
共同記者会見では「新市に向けて喜
ばしい反面、自町の名前が消えるこ
とに一抹の淋しさも」との声も。

写真2：関係者、報道陣で会場は満席となり、
フラッシュの光が絶えなかった。

写真3：3月22日の新市誕生まで協議が続く



住む人々が等しく幸せに暮ら
せる新市を目指して



合併協議会副会長
佐藤矢島町長

(共同記者会見より)

調印までの過程を考えると
感無量であるが、住民が等し
く幸せでなければ意味がな
い。常に地域的、経済的な連
携を取りながら新しい市を建
設して行かなくてはいいけな
い。それぞれ地域の伝統と文
化がある。地域審議会、地域
自治区のいづれかが設置され
るので、新市の中でいかにそ
れらを融合させていくか、20
年後、50年後の理想を掲げな
がら、これからの努力してい
かなければならない。

多くの首長が調印は合併への
新たなスタートとの見解

調印が終わり合併への基本
的な内容についての意思統一
がなされた訳ですが、共同記
者会見の場ではこれから合併
までが正念場で、最終ゴール
へ向かって今日スタート地点
に立ったとの意見が多く聞か

れました。

その理由として、今後、協
定書の項目を元にさらに細部
を決めていく必要があるため
です。一例をあげれば、地域
審議会又は地域自治区の取り
扱いや特別職の職員の身分、
使用料及び手数料の取り扱い
などまだまだ慎重な議論の上
に決定する事項が残っていま
す。

そうした問題をクリアしつ
つ、住民サービスの低下を招
かないような新市の立ち上げ
を行う必要があり、今後の詰
めの議論が重要となつてきま
す。

矢島町臨時議会で合併承認

8月18日に行われた臨時議
会において3月22日から一市
七町を廃し、その区域をもつ
て由利本莊市とし、秋田県知
事への申請をする「市町の廃
置分合」について全会一致で
承認されました。それに伴う
財産処分、議員の在任特例、農
業委員の任期等についての特
例、新市の議員の定数につい
ても合わせて承認されまし
た。
同日行われた各市町での臨
時議会においても合併が承認
されました。

由利本莊市の市章を募集！！

募集
期間

平成16年8月17日(火)
～9月30日(木)(当日消印有効)

募集方法

- ・応募資格は問わず1人何点でも応募可能とします。
- ・応募用紙は、専用応募用紙（今月号広報のチラシの裏面またはホームページから印刷可能）または縦横15cm枠に書いたA4白色用紙を縦長で使用し、用紙1枚につき1作品とします。
- ・「デザインの主旨」「郵便番号」「住所」「氏名（ふりがな）」「年齢」「性別」「電話番号」を用紙に記入下さい。応募は、持参または封書による郵送とし、FAX・電子メール及び電子記憶媒体（FD、MO等）での応募は出来ません。

賞金

最優秀作品（採用作品1点）30万円
優秀賞（候補作品3点以内）5万円
その他詳しい内容は今月広報同封のチラシまたは合併事務局TEL 28-1730 まで

8月15日(日)日新館ホールにて平成16年度矢島町成人式がとり行われました。

矢島町の今年の成人者は87名で当日集まった成人者の紹介のあと町長が祝辞を述べられました。

新成人の感性、迅速な対応、行動力に期待と町長

「皆さんの中には、すでに立派な職業人として実社会で活躍しておられる方もあり、また、学窓にあつて勉学に専念しておられる方もあると思います。」

いずれにしても、それぞれの立場の中で違いはありますが、自らを大切にし、誇りと責任をもって、社会の前進に役立つような、悔いのない人生を送っていただきたいと願っております。(中略)

新しい時代へ向けた町づくりに、皆さんの柔軟で若々しい感性とスピーディーな対応、及び果敢な行動力がどうしても必要であり、今後皆さんには、一層の教養と英知の涵養を期待するものであります。

最後に、ふるさと矢島の皆

さんのあたたかいご支援をお願いするとともに、洋々たる前途に大きな夢と希望を乗せて船出なさる皆さん方の門出を衷心より祝福し、式辞と致します。」

続いて成人者代表として佐藤望美さんが答辞を述べられました。

矢島町を支えに そして誇りに：

「この広い世界で『矢島』という地に生を受け、また永久不変に流れ続ける時の中で、同じ年に生を受けた私達。この偶然は、運命的なものをいやがうえにも感じさせ、私た



ちをつなげているものの一つとなつています。一度は離れ離れになり、それぞれの道を歩んできた私たちであります。今日この日思いを一つに集結できたことを、心から喜ばしく思います。『僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる』高村光太郎氏の詩『道程』の一節です。私たちが歩んできた道は、振り返ると間違はなくそこにあります。けれどもそれは、決して自分一人でも踏み固めてきたものではありません。そして私たちの行く先は未だ見えずとも、迷い、悩み、時には手を取り合いながら自分たちの力で切り開いていかなければならないのです。家庭が、友人がいるこの矢島町を心の支えに、また、誇りに、成人としての第一歩を踏み出して行きたいと思ひます。』(一部抜粋)

今思うこと

小番 直樹

今日八月十五日、ここ矢島町で共に育った仲間と再会を果たし、こうして成人式を迎えられたことをうれしく思います。

さて、意見発表ということ、何を言おうか色々考えたのですが、私たちの世代の新人がこれからどう生きていくべきか、私なりの考えを発表しようと思います。

私たちは今日成人となり、責任と義務が新たに課せられたということで、普通なら、ここで、成人としての自覚を持ち自分の言動に責任をとることのできる立派な成人になりましょう。と、いったことを言うべきなのだと思いますが、社会人としてほとんど何もしたことの無い私たちが突然そんな人間になるのは無理

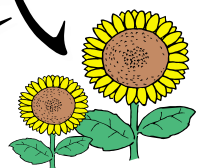


だと思ひ、そうなる必要も無いと思ひます。むしろ、今日手に入れた自由と権利を最大限に使い、今までやったことの無いことに挑戦し、多くの失敗をしてそこから色々なことを学び取るべきだと考えます。こんな事を言う周囲の方々から馬鹿な新成人だ。と言われてしまいそうですが、私は、実際に何かをやってみるといことは非常に大事なことだと思います。

私は今、大学の農学部で勉強していて、一昨日まで農場実習をしてきました。実際に教室の黒板やプリントで習うのと現場に出て植物をみるのとでは理解の量も質も全然違いました。誤解していたものの一例として、落花生があります。私は落花生が、土の中に生るのは知っていましたが、馬鈴薯のように初めから

平成二六年度

矢島町成人式



自覚と責任を胸に成人の仲間入り

土の中にできるのでなく一度地上で開花しそのあと土に潜っていくことを知りませんでした。人の話を聞いたり、本などに書かれていることを読んでいたりすると事実と異なった理解をすることが多々ありますが、何かを自分でやった場合には、事の本質から大きくずれた理解はしないものです。実体験の大切さとはそういうことではないでしょうか？

私たちが育った時代というのは、携帯電話・インターネットが著しく発達した時代でありました。それ故、生活の中が情報で溢れ実際に自分でも自分で体験したかのような錯覚に陥りやすかったと思います。まず、事実、実生活とヴァーチャルの世界を混同して事件を起こしてしまった人も全国にはいたようです。

若いときの経験は、後々大きな差となって表れてくるはずです。色々なことにチャレンジし、人生経験豊かで、器の大きい人間に成れるよう努力して行きましょう。

新成人としての思い

佐藤 舞

今日私たちは、人生の大きな節目を迎え、成人として新たなスタートを切ろうとしています。この二十年という月日を振り返ってみると、多くの出来事や経験で満たされ、全てが足早に過ぎていった気がします。

今後、社会への仲間入りを果たし、一人の大人として参加していくわけですが、「真の大人」「真の成人」になるための条件を、最近よく考えるようになってきました。正直、明確な答えが見つかったわけではありません。ただ、大人は常に義務と責任を負うことが求められていると思います。幅広い面での権利や自由を認められますが、それと共に自らの言動に最後まで責任を持

ち、自らの力で物事に対処していく術を身につけることが必要なのではないでしょうか。そして、成人としての一歩を踏み出すにあたり、より広い視野を持つことも大切だと思います。しっかりと社会を見据えて問題をよく理解し、自分の考えを深め、はっきりと意見を述べる―当たり前のようで実は難しいのですが、そのような人間になることを目指し、成長していきたいと思っています。

現在私は秋田を出て寮生活を送っています。初めて親元を離れたこともあり、慣れるまでは苦勞の連続で、自分の未熟さをどこまでも痛感しました。この生活で、親の有り難さを強く実感でき、感謝の心を忘れずにい続けたいと思いました。

先日、大学で「故郷についてのスピーチをする」という課題が出されました。約二時間テープに録音し、故郷の写真と共に提出するものでし



た。矢島の長所も短所も分かっているつもりで、まだ知らない側面があることに歯がゆさを感じたのを覚えています。矢島は緑に囲まれた美しい町です。歴史も長く、誇れるものが数多くあります。同時に、少し欠点があることも否めません。しかし、矢島の魅力はそれだけではないのだと思います。自分の故郷をよく知ること、その将来を真剣に考える機会が増え、支えていくこうとする自覚が芽生えていくのではないのでしょうか。

今、私たちはそれぞれの道を歩み、それぞれの目標に向かって、日々を過ごしています。成人となつて、より一層周囲の目は厳しくなりますが、向上心を持ち続けることで人生に磨きをかけ、努力を怠ることなく社会を生き抜いていきたいと思っています。

最後になりましたが、今日の私たちがいるのは、今まで励まし続けてくれた家族、お世話になった先生方、友人、そして温かく見守ってくださった多くの方々のおかげです。この感謝の気持ちを胸に、力強く歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございます。

昨年続く二年連続の快挙！

矢中吹奏楽部 県大会金賞を受賞



矢島中学校の吹奏楽部の皆さんが今年も快挙を成し遂げました。今回、生徒を指導している野田口裕子先生に今年の大会を振り返ってもらいました。

（受賞までの軌跡）

演奏曲 マナティ リリック序曲
（R・シエルドン作曲）

中央地区大会

7月23日（金）本荘文化会館

29校が参加し見事金賞を受賞し県大会へ

秋田県大会

8月9日（月）秋田市文化会館

県北・県南・中央の各地区大会で金賞を受賞した30校が参加し、見事県大会金賞を受賞

★吹奏楽部を指導し当日指揮者も務められた

野田口裕子先生に聞く

（のたぐちひろこ・矢島中学校に平成14年赴任。

吹奏楽部を2年連続の金賞受賞に導く

——昨年十数年ぶりで県大会に出場し、見事金賞でしたが、今年も連続出場、そして再びの金賞受賞の快挙でしたが？

先生——秋田県は全国にも名を知られた吹奏楽王国でしかも、1年ごとに中高生のレベルが確実に上がっていることを思うとそ

の中での金賞はやはりうれしいです。

——昨年は金賞受賞、プレッシャーというものは見られましたか？

先生——毎年常にチャレンジャーという気持ちなので前年のプレッシャーはほとんどありません。あえて言うなら、出演順を抽選したところ地区大会は29校中1番、県大会は30校中3番というくじを引いてしまったのでそれがプレッシャーでしたね。なぜなら最初の学校は審査の基準になるので印象的な演奏をしないと他校より良い評価が得られないからです。これは厳しいです！



演奏を終え充実の笑顔

——二年連続で県大会金賞受賞ですが、今後の抱負をお聞かせ下さい！

先生——10月に定期演奏会を行いますので多くの町民の方々に聴いて頂きたいですね。それが終わると3年生が引退し、1、2年生だけの部活となります。レベルダウンは明らかなのでまた基本練習に力を入れて良い演奏の下地を確実に作って行きたいです。

——最後に当日のエピソードや先生からのメッセージを！

先生——当日は本番数10分前に楽器が急に壊れて、出場を棄権しなくてはいけなくなりそうだった時に、色々な人のお世話になつて無事演奏できました。皆さんに心から感謝しています。吹奏楽は人数が増えるほど可能性が広がります、矢小6年生の皆さん来年まつてます！！

——ありがとうございました！来年の活躍を期待しております！！

——テナーサクソ担当・

3年・福岡知佳さん

『（緊張から上手く音が出ず）金賞は無理だと思った。しかし、このメンバーで、この曲を演奏できて良かったと思った。最高の仲間だと思った。『ゴールド金賞』これは夢のようで、最高にうれしかった。』



先生の指揮のもと実力を発揮



緊張感が伝わります

ホルン担当・2年・畑沢千秋さん
『県大会では緊張はしましたが、中央地区大会の時よりは落ちついて、演奏ができました。やっぱり緊張して失敗はしてしまつたけど、みんなががんばって練習をして、コンクールに出れた事と、家族や友達、先生達が励まして応援してくれた事が嬉しかった』

秋田県由利郡支部

消防訓練大会

平成16年度消防都市大会が8月7日本荘市松涛公園で行われました。矢島町消防団から第4分団が、町の代表として、小型ポンプ操法の部に出場しました。

健闘しましたが一歩及ばず結果は、第4位でありました。4分団の団員の皆さんには町の大会後、3週間にわたり炎天下の中また夜遅くまでの練習たいへんご苦労さまでした。



4位入賞の第4分団（元町）

矢島ロータリークラブから

7月13日、ロータリー100周年を記念する世界を巡る5つの鐘の一つが矢島ロータリークラブにやってきました。当クラブでは町への介護用品の寄贈、青少年の健全育成、高校ボランティアグループへの支援、スポーツ振興や町長を中心とする長年のネパール農業支援など奉仕の理想、国際交流による親善と平和を更に推進していきます。



矢島町民謡愛好会活躍

8月7日（土）本荘市文化会館にて開催された本荘市由利郡民謡グループ対抗戦において、矢島町民謡愛好会（会長 佐藤良美 会員15名）が団体で3位に入賞しました。また、個人では佐藤良美さん（金ヶ沢）が大将の部で優勝。さらにグランプリも獲得されました。入賞された矢島町民謡愛好会は、8月29日（日）秋田市文化会館で開催される県大会へ出場し、今後益々の活躍が期待されます。

（写真左より）
団体出場の
土田禎子さん
（荒沢）、
佐藤良美さん
（金ヶ沢）、
三浦ヤス子
さん（木在）



第47回小学生・中学生

全国空手道選手権大会

日時・8月7、8日

場所・宮城県総合体育館

大会成績

小学校6年女子 形の部

第5位 佐藤 夏実

小学校6年女子 組手の部

ベスト16 佐藤 夏実



見事5位入賞

佐藤夏実さんはこの後行われる、第9回松濤杯少年世界空手道選手権大会への代表選手に選出されました。

○全国大会出場者

中学校 佐藤 健

小学校 佐藤夏実、佐藤先晃

大杉慎太郎、佐藤穂奈美
黒木未央



第16回商工会長杯

争奪野球大会

（8月8日）

（一部）

優勝 矢島町役場

準優勝 TDK

最優秀賞 佐藤 夏樹

優秀賞 佐藤 昌司

敢闘賞 高橋 信司

（役場・写真中）
（役場・写真右）
（TDK・写真左）



第34回納涼鮎まつり

・鮎つり大会

今年も子吉川の夏の風物詩、鮎つり大会が行われ、腕自慢が集いその技を競いました。優勝は千葉陽康さん16匹、準優勝・茂木孝夫さん15匹、3位は三浦裕之さん13匹でした。

大会後は地元の鮎と酒で、今日の釣果について大いに語りました。



多くの太公望が参加した

香川県・塩江町長が

矢島町を訪町

矢島町と友好都市の関係にある高松市との合併を控える塩江町町長が公務で秋田を訪れ、少ない時間をさき、矢島町を訪町しました。合併先の高松市と矢島町の深い関係を資料館や龍源寺などを訪問し強く感じたとの事でした。

塩江町

しおのえちよう



ピカちゃん

しおのえちよう
香川県のほぼ中央部最南端に位置し総面積の84%を山林が占める阿讃山麓の代表的な峡谷型の町。町の北部と南部では約700mの標高差がある。ほたと文化の里として町をPRしている。



最高人数となった参加者



祓川ゴール

今年から全国を舞台に3戦行われる『全日本ヒルクライムレース』の2戦となった矢島カップですが、全国から強豪が集まり、最高クラスのチャンピオンクラスでは、第1戦でも1位、2位を争った藤田選手と朝倉選手がゴール直前までデッドヒートの激しいレースとなり、藤田選手が7秒差をつけて勝利し、シリーズ戦でも朝倉選手と並びランキングトップとなりました。

7月31日から8月1日の2日間、連日37度を越す猛暑の中、矢島町の真夏の祭典矢島カップ・Mt・鳥海バイシクルクラシックが開催されました。今年は前杉の国道崩落事故を受け、コースが変更されましたがテクニカルなコースとの声も聞かれ、変更に伴う大きな混乱は見られませんでした。

チャンピオンクラスは実力者の一騎打ち！

2004
18th

YASHIMA CUP
Mt, 鳥海バイシクルクラシック

7月31日
~8月1日

矢島地区消防組合からのお知らせ

●9月9日は「救急の日」です。

9月5日(日)~11日(土)は救急医療週間です。

住民の皆さんに応急手当と救急について覚えていただきたい次の催し物を開催します。

本荘由利救急フェア2004

▼日時 9月7日(火) 午後1時30分~4時

▼場所 本荘市由利郡医師会 講堂

▼参加対象 一般住民、福祉関係等事業所、本荘準看学院学生

▼実施内容 ・講演「救急における除細動の重要性について」

・自動体外式除細動器を使用した心肺蘇生 ・成人、小児、乳児に対する心肺蘇生法



●多数傷病者事故対策訓練実施のお知らせ



▼日時 9月9日(木) 15時~16時

▼場所 矢島町小林工業(株)本社工場直近の立石踏切付近

▼訓練内容 救助活動、担架搬送、救急処置、ヘリコプター搬送他

●もみ乾燥機による火災の防止について

収穫の季節を迎え、もみ乾燥機を使用する時期となりました。もみ乾燥機からの火災を防止するため、特に次の事項に注意し火災予防に努めて下さい。

- 一、使用前に、乾燥機の清掃及び点検整備を徹底する。
- 二、乾燥機の周囲は常に整理清掃に努め、燃料その他の可燃物を放置しない。
- 三、乾燥機使用時は、付近に消火器を設置する。
- 四、乾燥機使用中は安全装置を過信せず、常時監視し、燃料漏れ、余り油、異音、異臭に十分注意する。
- 五、乾燥機は建築物の部分(天井、壁、柱など)及び可燃性の物品から上方及び前方は1メートル以上、側方及び後方は50センチメートル以上距離を保つ。
- 六、乾燥機を設置する屋内の床を土間又は金属以外の不燃材料で造り、更に室内に面する壁、天井を不燃材料又は準不燃材料で仕上げる。

詳細は矢島地区消防組合 消防署まで問い合わせして下さい。TEL 55-2111

教育委員会だより

熱 血

教育委員 大井 建史

アテネオリンピック。皆さんもテレビの中継に夢中になった事だろうと思いますがいかがでしたか？日の丸・君が代がこんなに感動的な時はありません。子供達が母国日本を最初に実感し誇りとするのは、こんな時なのかもしれません。

水泳・女子柔道・体操・女子マラソン等々すごかったですね。沢山の名勝負に私の血は騒ぎ、思わず目頭の熱くなる感動シーンを見ながら、ふと思った事があります。自分の子供の時代は「熱血漢」は「良い人」だったよな！正義の味方は熱血漢だったよな！と。熱血・気合・感動・感涙・全力・積極果敢・突撃！！と最後は違うような気がします、なんだか最近身の回りではあまり聞かなくなった言葉であることに、とても寂しい思いがしました。

シラケルと言う言葉も古い感じはしますが、さめた目で周りを見回す事が、大人になったような気がする成長期の一時期はあるでしょうが、

それにしても今の若者の中には熱が感じられる事が、とても少なく思うのは私だけでしょうか？

町のお祭りやイベントでも、もへを背負った良い男・女はいますが、かなり少数です。皆さんの仕事場ではどうでしょうか？血の熱い人間はどの位いますか？そう言う人はリーダーシップを取っていませんか？

矢島の生徒・児童の皆さん

世界の産業は中国に向かって吸収されそうな勢いですが、この勢いの中心はこれからインドに移ると言われています。その第一の理由は英語圏であるからです。人口が多いことも勿論必要条件に入っています。中国からインドに移る第一の理由は中国では英語が通じにくいと言う事が逆の意味で一番の理由になるということです。

アジアには英語の得意でない国が結構ありますが、早く気がついた国は英語教育が盛んです。日本のような悠長な状態ではありません。お隣の韓国の学校ではすさまじい勢いで英語教育がなされ、平均英語力でも日本の子供達に大きく差をつけ始めました。

「矢島の子はおとなしい」と昔から言われます。大人しいと書くときと悪くない様に思いますが、「消極的だ・声が小さい・闘志が無い」と言うことであれば、とんでもない事です。

矢島町は秋田県内で東京大学進学人数が人口に対して最も多い地域だそうです。寡黙である事は血が熱くないと言うことではもちろん無いわけで、皆さんが学校で習った他にも矢島出身の偉人は沢山います。スポーツでも全国レベルの素晴らしい成績を残された先輩達が沢山います。

それほど、矢島の町から、すばらしい「熱血漢」が沢山出ているのです。

矢島町は来年合併されますが、自分達は、その後を継ぐ者であることに誇りを持って進んでほしいと思います。その為には、素晴らしいものに感動出来る自分を持ち、家族や故郷に誇りを持ち、体を鍛え、学力を蓄え、積極果敢に行動し、世界に雄飛し、リーダーシップを発揮できる人間になってほしいと願っています。

第4回おばこハイク参加者募集！！

- ▼開催日 9月25日(土) 雨天決行
- ▼コース 花立(矢島町)から鳥海荘(鳥海町)までの区間約10km
- ▼定員 先着100名で締め切り
- ▼参加料 高校生以上/1人1000円 小学生以上中学生以下/1人500円
- ▼参加条件 当日おばこ号を利用して指定時間まで黒沢駅(スタート)に集合
- ▼受付期間 9月1日(水)～9月21日(火)まで
- ▼問合せ先 由利高原鉄道㈱ TEL56-2736





国体推進室だより



～秋田わか杉国体開催正式決定！！～

「秋田わか杉国体」が、平成16年7月6日に開催されました財団法人日本体育協会理事会において正式決定されました。申請三者（秋田県知事・秋田県体育協会長・秋田県教育委員会）を代表して秋田県知事が開催決定書を受領（県体育協会長・県教育長立会い）致しました。

財団法人日本体育協会長安西孝之及び文部科学大臣河村建夫両氏連名による「国民体育大会開催決定書」を受領しております。

第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」の直後には、第7回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」が開催されます。

秋田わか杉国体並びに秋田わか杉大会では、県民総参加の大会を目指しておりますので、県民の皆様の益々の御理解と御支援をお願い申し上げます。

これを受けて、8月12日、秋田県民会館を会場に「秋田わか杉国体」「秋田わか杉大会」開催決定記念イベントが、県内各競技団体、開催地市町村関係者、一般県民等1,300人余りの参加者により盛大に開催されました。

当日は、開催決定報告や「スギッチ」愛称命名者表彰式等の記念式典が実施され、同大会のイメージソング「make IT real」が初めて生演奏で披露されました。作詞・ボーカルの松本英子さん（秋田市出身・歌手）、ボーカルの中鉢聡さん（湯沢市出身・オペラ歌手）、作曲・電子ピアノの加曾利康之さん（秋田市出身・エレクトーンプレイヤー）3人による、それぞれのソロ公演並びにこの3人と国体ジュニアクワイヤの小中学生35人の競演によるコンサートが行われ3年後に開催されます「秋田わか杉国体」の成功に向けた機運の醸成とイメージソングの普及促進が図られました。



秋田わか杉国体広報ボランティア募集

秋田県国体・障害者スポーツ大会局では、県内の各種イベント会場などにおいて、秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の広報活動を行うボランティアを募集しております。対象は18歳以上（平成16年4月1日現在）で、活動内容は、

- ◎イメージソング等に併せたダンスや歌、楽器演奏
- ◎PR用のぼり旗などの会場設営やちらし、啓発グッズの配布
- ◎マスコット「スギッチ」の着ぐるみ着用
- ◎その他、イベント会場におけるPR活動

応募の締切は、9月27日（月）。応募・問合せ先は、同大会局大会総務課までご連絡下さい。応募書類をお送りします。また、公式ホームページからも、ご応募できます。

・TEL 018-860-5208 ・Fax 018-860-5211

・メールアドレス kokutai@pref.akita.lg.jp

・ホームページアドレス <http://www.pref.akita.jp/kokutai/>

第62回国民体育大会開催方針及び開催基本構想の概要

秋田わか杉国体の開催が正式決定しましたので、県の開催方針及び開催基本構想を掲載致しますので、町民の皆様にも御理解願います。

1. 基本方針

第62回国民体育大会は、秋田の恵まれた自然と誇り高い文化を継承しつつ、県民の英知と創造力を結集し、新しい理想に向かって躍動できる秋田国体として開催する。

2. 実施種目

(1) 県民の総力による大会

県、市町村並びに関係機関・団体の緊密な連携のもとに、県民の総力をあげて大会の運営に万全を期する。

(2) 地域に根ざした大会

競技会場を広く県内各地に設け、住民の参加のもとに連帯を深め、地域に根ざした国体としてスポーツと文化の振興に寄与する。

(3) スポーツ水準の飛躍向上を図る大会

指導者の養成と選手の育成強化に務め、本県のスポーツ水準の飛躍的向上を図る。

(4) ひらかれた施設による大会

競技施設については、できるだけ既存施設の活用を図るとともに、新たに整備する場合は、大会後においても地域住民が広く利用できるよう整備する。

(5) 心のふれあいを深める大会

全国の選手団を温かく迎え、友情の輪を広げるとともに本県の豊かな自然と人情豊かな生活文化を全国に紹介する。

(6) 活力あるふるさとづくりを進める大会

県民総参加のもとに、広く県民運動を展開し、心豊かでたくましい県民性を伸長するとともに、連帯性と郷土愛を培い活力ある県民生活を築くことを目指す。

3. 秋田国体のめざすところ

(1) 感動と出会いの国体

選手が遺憾なく力を発揮し、観客に感動を与える大会を目指します。

また、ふれあいの輪が広がる、出会いと交流の場を創っていきます。

- ・国内最高の競技会の実施
- ・正確で効率的な競技運営
- ・多様なスポーツイベントの開催
- ・ふれあいの輪が広がる交流の場の創設

(2) スポーツ環境の整備

競技施設の整備に努めるとともに、県民のだれもが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを行います。また、本県選手の競技力のさらなる向上を目指して競技環境を整えます。

- ・競技会場の整備
- ・生涯スポーツの拠点づくり
- ・自然との調和
- ・本県選手の育成強化
- ・スポーツ指導者の養成
- ・スポーツ医・科学の導入

(3) 県民総参加の国体

すべての県民の国体参加を呼びかけ、秋田を訪れる人々を温かく迎える、もてなしの心あふれる大会を目指します。

- ・県民の参加意識の高揚
- ・ボランティア活動の推進
- ・民泊の活用

(4) 秋田の魅力を発信する国体

秋田の魅力を全国に発信するとともに、県民1人1人が秋田の魅力、秋田らしさとはなにかを問い直す機会となるように呼びかけていきます。

- ・「美の国秋田」の多彩な魅力を全国に発信

(5) スポーツ文化の振興

国体を契機になお一層スポーツが生活の一部として定着した健康で明るい暮らしづくりを図っていきます。

- ・スポーツを核とした地域づくり
- ・「わがまちのスポーツ」の定着

君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

2007 第62回国民体育大会

矢島町はソフトボール成年女子競技の開催地です。



ほけんだより

健康やしま21計画
めざそう健康！
「あなたの元気がやしまの力」

6月に実施した基本健診の集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。（下グラフ参照）
今年度は受診者741人中、82%が要再検・精査・医療の判定となりました。この高い数値は、前年度と同様（前年度は84%）であり、日頃から一人ひとりが自分の生活習慣の問題点を知り、改善の取り組みが必要であることがわかります。

項目別においては、
・総コレステロール値（脂質）
・HbA1c（糖尿病）
・高血圧
の要精検率が高く、昨年同様の結果がでております。いずれも、放っておくと重大な病気（心疾患・動脈硬化・脳卒中・糖尿病など）を引き起こす可能性が高いものです。

〈平成16年度基本健診の結果がまとまりました〉

《相談・健診》

◎なんでも健康相談

日時 9月29日（水）
午前9時30分～11時30分

場所 保健センター

※健康に関する相談、体脂肪測定や血圧測定、赤ちゃんの計測など実施しています。
お気軽にいらしてください。

◎乳児健診

日時 9月29日（水）午後1時

場所 保健センター

対象 平成15年9・11月 平成16年2・5月生
持参するもの

母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル
※5月生の方は、健康相談票をお持ちください。

◎2歳児健診

日時 9月16日（木）午後1時

場所 保健センター

対象 平成14年3～6月生

持参するもの

母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル、
フェイスタオル

※歯の染め出しを行いますので、自宅で歯磨きをして来てください。

◎3歳児健診

日時 9月24日（金）午後1時

場所 保健センター

対象 平成13年2～5月生

持参するもの

母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル
※アンケート票後ろの視力・聴力検査セットで必ず検査を済ませて来てください。

※受付後、尿検査を行います。

《予防接種》

◎三種混合1期・追加

日時 9月21日（火）午後1時

場所 保健センター

対象 ①平成16年3月生までで3回終了していない乳幼児

②3回目終了後1年経過した幼児

※母子手帳と、記入した予診票をお持ち下さい。

健診・予防接種の日程は矢島町のホームページ
または、iモードでもご覧いただけます。

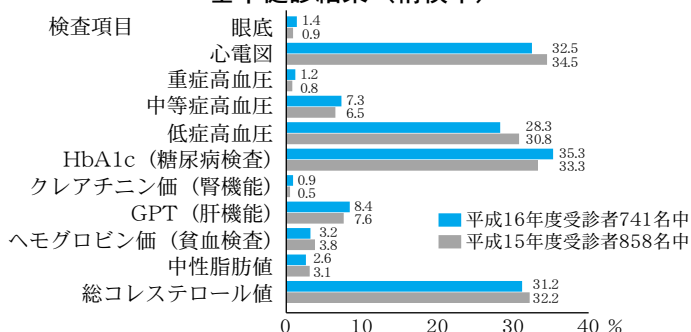
《ホームページアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/>

iモードアドレス

<http://www.town.yashima.akita.jp/fukusi/fukusi/imodo.html>

基本健診結果（精検率）



注目すべきは、肝機能異常値を示す割合も高いことです。そのうちの半数はアルコールが原因となります。何事もほどほどが大切です。適度な運動、食事は腹八分目で栄養バランスよくを心掛け、健康寿命の延伸を目指してみませんか？

本庄由利広域市町圏組合立休
日応急診療所（旧本庄由利医
師会病院協）当番医予定
診療時間 午前10時～
午後4時
問い合わせ TEL 24・3917

月 日		医 師 名
9月5日（日）	奥山 俊	
12日（日）	加藤 芳	
19日（日）	海法 恒男	
20日（月）	桑山 明久	
23日（木）	小松 徳弥	
26日（日）	酒見 喜久雄	

飲みすぎ注意



国民健康保険者証の更新について

現在国保に加入されている皆さんには、平成16年10月1日から使用する新しい被保険者証が9月末までに交付されます。被保険者証は、皆さんが医療機関で受診するときに国保の加入者であることを確認できる唯一の証明書です。そこで、受診される方は次のことを必ず守るようにしてください。

一、現在入院中あるいは通院中の方は、10月1日からの新しい被保険者証を必ず医療機関等の窓口に表示してください。

二、10月1日以降新しく国保に加入した場合も、必ず被保険者証を医療機関窓口に表示してください。又、職場の健康保険に加入したなど国保を脱退したときは速やかに役場福祉保健課まで届け出るとともに、医療機関にも保険が変更なった旨を申し出てください。

胃の精密検査を受けましょう

7月に実施しました胃検診の結果がお手元に届いているかと思えます。精密検査が必要であった方は、必ず検査を受けましょう。医療機関へ検診結果と保険証を持参して下さい。受診された方は、同封しているハガキを記入して投函して下さい。



お子さんの予防接種は
済んでいますか？

忘れているものが無いか、今一度母子手帳を確認しましょう！

また、毎月町広報を見て確認する習慣をつけたいものですね。

福祉保健課

生活環境課からのお知らせ

自動車のリサイクルについて

2005年1月から「使用済み自動車の再資源化等に関する法律」が完全施行され、以後自動車の購入・車検取得・廃車にあたりリサイクル費用の負担が生じます。

この費用は、使用済みの車用エアコンやエアバックなどのリサイクル処理に充てられ、地球にやさしい社会づくりに役立てられます。

●お支払いの方法

- 新車購入の場合 → 購入時に購入業者へ
- お乗りの車を乗り継ぐ場合 → 2005年1月以降、最初の車検取得時に整備業者へ
- お乗りの車を廃車にする場合 → 廃車手続時に引き取り業者へ

リサイクル費用は車1台につき1回の負担となります。

また、手続が完了しますと（財）自動車リサイクルセンターからリサイクル券が発行されますので、車検証とともに大切に保管して下さい。

自動車の種類	1台当りの単価		
	リサイクル料金①（上限）	情報管理料金②	資金管理料金③
軽・小型乗用車	16,000円	130円	新車購入時 380円 車検取得時及び廃車時 480円
普通乗用車	18,000円		
中・大型トラック	16,000円		
大型バス	65,000円		

※ 情報管理料及び資金管理料金は、（財）自動車リサイクルセンターが使用済み自動車のリサイクル状況の把握やリサイクル料金の収納・管理等を行うための費用です。

※ リサイクル料金は自動車メーカー及び車種により異なります。各自動車メーカーのホームページ等でご確認下さい。

また同法施行以降は、使用済みの自動車は全て廃棄物とみなされますので、部品取りなどの目的で屋外に保管されている方は適正な処理をお願い致します。最悪の場合、不法投棄とみなされ罰則※の対象となります。

※ 最高で1,000万円の罰金、又は懲役5年に課せられます。

年 金 コ ー ナ ー



～第1号被保険者の独自給付～

第1号被保険者の独自給付には、付加年金、寡婦年金、死亡一時金などがあります。

◎付加年金

付加年金は、付加保険料（月額400円）を納付したことのある人が、老齢基礎年金の受給権を得たときに支給されます。

ただし、付加保険料を納付できるのは、国民年金の第1号被保険者（保険料の納付を免除されている方及び国民年金基金の加入員を除く）だけです。

付加年金の年金額は、**付加保険料納付月数×200円**です。

◎寡婦年金

寡婦年金は、第1号被保険者の保険料納付済期間または保険料免除期間が25年以上ある夫が死亡した場合に、10年以上婚姻関係のあった妻に、60歳から65歳に達するまで支給されます。

ただし、死亡した夫が障害基礎年金の受給権者だったり、老齢基礎年金の支給を受けていたときは、寡婦年金は支給されません。

寡婦年金の年金額は、**夫が受けられる老齢基礎年金の4分の3**です。

◎死亡一時金

死亡一時金は、**第1号被保険者の保険料納付済期間が3年以上ある人**が、老齢基礎年金または障害基礎年金のいずれの支給も受けないで死亡したときに支給されます。

ただし、その人の死亡により、遺族基礎年金を受けられる遺族がいるときは、死亡一時金は支給されません。なお、寡婦年金と死亡一時金の両方を受けられる場合は、支給を受ける人の選択によって、どちらかが支給されます。

保険料納付済期間	金 額
3年以上15年未満	120,000円
15年以上20年未満	145,000円
20年以上25年未満	170,000円
25年以上30年未満	220,000円
30年以上35年未満	270,000円
35年以上	320,000円

◎ 第1号被保険者の独自給付は、この他に「特別一時金」、「外国人の脱退一時金」などがあります。

※付加保険料を3年以上納めている場合は、8,500円が加算されます。

※詳しいことは秋田社会保険事務局本荘事務所(24-1115)まで

～「国民年金に関するアンケート」の実施～

町では国民年金制度の周知と保険料納付率向上のため、国民年金被保険者を対象に「国民年金に関するアンケート」を実施する予定です。お手元にアンケートの依頼文書が届きましたら期日まで回答方ご協力願います。

お問い合わせは役場生活環境課年金担当(55-4959)まで

～ 年金保険料を納めましょう ～

“こちら情報センター”

由利町・鳥海町でも光ファイバ網事業実施！

8月11日、総務省より光ファイバ網整備事業の補助交付決定団体が発表され、由利町、鳥海町でも補助交付決定されました。

矢島町では、平成14年度に全国にさがけて同事業を実施し、ブロードバンドインターネットができるようになっており、両町の事業が完了すると本町のYBネットのエリアが拡大し、三町にYBネットサービスを提供することになります。

三町の加入者を合わせると900加入程度見込めるため、現在の月額利用料金7,560円(H14 6,510円)を少なくとも1,000円程度値下げできるようになる予定です。

YBネット利用者には、さらに低料金で快適にインターネットをご利用いただけるようになります。

現在、YBネットの加入者は、337加入となって



おり、毎月4～6加入程度の加入者が増えております。

エリアが拡大すると、急速に加入者も増加し、設備の不足も心配されますので、YBネットのご利用をお考えの方は、お早めの加入をお勧めいたします。

また、最近ウィルスに感染する人が増加しております。インターネットを利用する方は、ウィルス対策ソフトを導入して、windowsのアップデートと最新のパターンファイルになっていることを心がけ、ウィルス対策を万全にして、インターネットをご利用下さい。

今月のテレビ電話・インターネット配信予定

9月上旬 町定例議会議中継

テレビ電話でご覧になる方は事前に企画商工観光課へ電話で申し込みください。

お問い合わせ先 役場企画商工観光課 TEL 55-4952

ホームページアドレス

<http://www.town.yashima.akita.jp>

eメール kikaku@town.yashima.akita.jp

やまめ八月例会

朝涼や米寿の吾の朝ならし

佐藤アヤ子

祖母かたる昔ばなしや蚊帳のな

佐藤 トキ

揚羽飛び狭庭大きく見えにけり

佐藤 実

菩提寺の境内に沁む蟬の声

齋藤 茂

人類の悲しみ増える夏の星

佐藤真都子

第三五二回 矢島短歌会七月例会 秀歌 選者 藤田嘉樹

腕を上げ庭木剪定する吾息の後
姿は亡父に似るなり

佐藤アヤ子

短歌の道共に学びて逝きし君の

伊東 房代

三十年の日々を忘れず

伊東 房代

朝より疲れの残るこの日頃大き

金子 四郎

な声で「元気出して行こう」

金子 四郎

過ぎ去りしわが歳月を振り返る

金子 京子

友の三なの日今日もしぐれて

金子 京子

お上人の読経流るる時の間をあ

どけなき子等も頭をたれる

佐藤 洋子

玉の汗電工の子はぐいと拭き

金子 京子

手花火に聞きなれぬ声子等の声

正木 禮子

一声を残して蟬の捕まらず

佐藤 勝男

早朝の犬の散歩や稲の花

佐藤柳四郎

いやされる暮るる間際の蟬の声

齋藤 瑞

おしろいとまがう娘の天瓜粉

鞍馬 賢治

忘れざる玉音放送終戦日

北島やす雄

収穫の大根五百荷車に父引く後

佐々木リヨ

押ししも遙か

佐々木リヨ

一時間余かかる道路を高速は二

正木 禮子

十分なり時間を買ひぬ

正木 禮子

夏草は風にゆらぎぬ杜若うつる

加賀谷 栄

水面は調べのごとし

加賀谷 栄

風に揺れ干さるる乳児の肌着見

桜庭 恭子

ゆそのいとけなきに和む心よ

桜庭 恭子

父の日はいつもの如く過ぎ去り

富田 かよ

て老い二人にて食卓につく

富田 かよ

人生の結びの域に入りてより土

佐藤真都子

地の境界あらためて聞く

佐藤真都子

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福祉協議会

次の皆様から社会福祉事業のため役立てて下さいとして寄付金を寄託されました。厚くお礼申し上げます。

○城新・茂木武様

(御尊父喜九二氏香典返し)

○矢島町おどりの会様

(おさらい会、お花の一部を寄付)

○杉沢・佐々木正美様

(御令室タケミ氏香典返し)

○田中町・茂木孝夫様

(御母堂ツヤ氏香典返し)

「僕トラの血を引く玲央です」

という幼な児の祖父の名前は寅

治さんなり

佐藤千賀子

「後向き」と思うその時右の手

を拳となして空に突き上ぐ

佐藤 幸子

花水木こぬれに淡き紅色の花び

らあまた時に爽だつ

佐藤 幸子

その母に手をあづけつつ女童の

寄する段波喜々と跳ぶなり

茂木 富子

藤田 嘉樹

情報ひろば

- Information -



お知らせ

ロシアの歌と踊りの 素敵なステージ

ロシアを代表するロシア民俗歌舞団「ベエチエ&ロシアーニ」の快い感動を!!

▼日時 9月23日(木)

午後2時～

▼場所 日新館

▼入場料 3000円

▼主催

「ロシア民俗歌舞団」公演実

施委員会

立町百十五年記念事業(歴史散歩)

矢島藩士「土田衡平先生」の

墓参り

NHKで新撰組が放送されておりますが、矢島藩が生んだ勤王倒幕の志士であった土田衡平先生が元治甲子(1864年)11月に殉難され、遠

い福島県相馬市に改葬され今年が140年の年にあたり、公民館主催事業(立町115年事業)として、矢島町郷土史研究会及び温故会の共催で墓参りを計画いたしました。歴史及び土田衡平先生に興味ある方は参加してみませんか?

募集人数に限りがありますので、早めに公民館へお申込下さい。

▼募集人員 30名

(定員なりしだい締切)

▼期日 10月17日(日)

18日(月)

▼宿泊地

福島県相馬市松ヶ浦

▼参加料 15,000円

▼内容 相馬市の洞雲寺にて

土田衡平先生の供養・二宮尊

徳の墓参り・中村藩(相馬藩)

城跡及び中村藩寺社見学等

▼申込先

公民館TEL56-2203

自衛官等募集案内

防衛庁では次により平成十六年度自衛官の募集を行います。

▼募集種目

・防衛医科大学校学生(高卒(見込含)二十一歳未満の者)

・防衛大学校学生(高卒(見込含)二十一歳未満の者)

・看護学生(高卒(見込含)二十四才未満の者)

▼受付期間

10月1日(金)まで

▼試験日

11月6・7日

・防衛医科大学校学生

11月13・14日

・防衛大学校学生

・看護学生

10月17日(日)

なお、詳しいことについては自衛隊本荘募集事務所

(TEL22-3479)へお問い合わせ下さい。

秋の交通安全運動
「急がず マナーとゆとりで交通安全」



9月21日(火)～30日(木)までの10日間、秋の交通安全運動が実施されます。

期間中は、通学時間帯の街頭指導をはじめ、交通指導隊

による広報活動を予定しております。

悲惨な交通事故から子どもと高齢者を守り、安心・安全な町づくりをしましょう。

運動の基本

・高齢者の交通事故防止

運動の重点

・夕暮れ時と夜間の交通事故防止

・シートベルトとチャイルド

シートの正しい着用の徹底

・飲酒運転の徹底追放

寿康苑より

矢島町に在住する満70歳以上の方々には無料優待券を発行しております。(月3回分まで)誕生月から発行しますのでお気軽に窓口までおい下さい。

ポイントサービス

ご存知ですか?

1回のご利用につき1個スタンプを捺印し、20個たまると1回分の無料券を差し上げます。木曜日は2個捺印します。どうぞご利用ください。(但し無料優待券はポイントに含まれません)

～道路の供用開始と通行止めのお知らせ～

平成2年より工事を進めてまいりました、主要地方道・仁賀保矢島館合線の矢島町軽井沢バイパスが近々完成し、9月10日(金)をもって供用開始となりますのでお知らせします。

なお、東由利町黒渕地内の5.2km区間においては、道路災害のため7月19日から当分の間、通行止めとなっており、矢島町～東由利間は通り抜けできませんので、併せてお知らせします。

由利地域振興局建設部 (TEL 22-5438)

消防職員採用試験のお知らせ

お知らせ

▼問合せ先

本荘地区消防事務組合

TEL 22・4282

矢島地区消防組合

TEL 55・2529

▼受験申込書の請求

9月1日(水)～17日(金)

まで本荘地区消防事務組合消防本部総務課又は矢島地区消防組合消防本部総務課へ。郵便の場合は、「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、宛先と120円切手を貼った返信用封筒(A4)を必ず同封のこと

※受験希望者は必ず要項で内容を確認下さい。

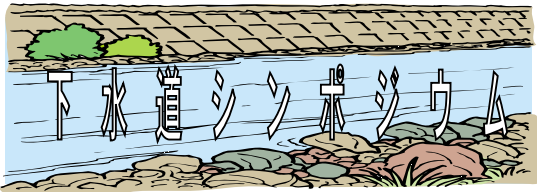
裁判員制度について

平成16年5月21日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」(裁判員法)が、成立しました。

公布の日(平成16年5月28日)から5年以内に裁判員制度が実施される予定です。

裁判員制度とは、国民のみならず、国民のみなさんに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

裁判員制度は、国民のみなさんの積極的な協力なくしては成り立ち得ない制度であり、裁判所としては、みなさんに制度の意義を理解していただけるよう、最大限の努力をし、関係機関と協力して、分かりやすく迅速な裁判を実現したいと思っています。



「孫来る、皆来る、幸せ来る早く来てくれ 下水道」
～あきたの『快適な暮らし』と

『美しい水環境の保全』を目指して～

都会で生活している子どもや孫、また癒しを求める人々は、心身をリフレッシュしてくれる豊かで美しい自然を求め、我がふるさと秋田にやって来ます。そのため、秋田に住む私たちは、この恵まれた自然環境を次の世代へ引き継ぐ責務があり、またこのことは、県民皆の幸せにも繋がることでもあります。

今後、『快適な暮らし』と『美しい水環境の保全』の実現を目指すため、下水道のさらなる普及促進を図る必要があり、今回、下水道の役割や効果を皆さんと一緒に考える機会として、下水道シンポジウムを開催することにしました。当日は、パネリストによるディスカッションなどを予定していますので、多数のご参加お待ちしております。

- ▼日時 9月11日(土) 13:30～17:00
- ▼会場 秋田県立児童会館(子ども劇場)
秋田市山王中島町1-2
- ▼参加費 無料
- ▼問合せ先 秋田県建設交通部下水道課
TEL 018-860-2465

交通事故の発生状況

(平成16年8月24日現在)

人身交通事故 **2件**

(平成16年8月)

交通死亡事故ゼロ日数

241日

7月救急月報(矢島地区消防組合)

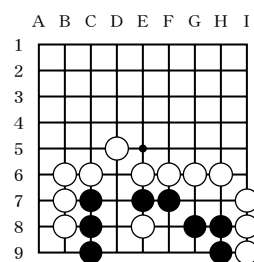
	出動件数	搬送人員
交通事故	1 件	2 人
一般負傷	0 件	0 人
急 病	12 件	11 人
そ の 他	4 件	3 人

ちよつとひと息…

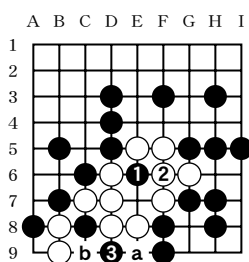
囲碁講座

死活問題、すべて黒先です。

黒番一手示して下さい。



(8月号解答)



※正解者1名に粗品を進呈いたします。

(解答例 C-3・F-1)
(応募多数の場合は抽選)

●応募先

矢島町七日町字上山寺29

廣祐寺内

やしま囲碁同好会

●締切は、毎月10日まで